

07月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">個人</span> 山行報告書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL:青山武、 SL:油井武、 塚本英吾、佐溝直彦 竹内幹雄
		報告日	8/04		
山城	北アルプス	山行日	2017年07月27日(木)～		
山名	弓折岳稜線		2017年07月29日(土)		
山行目的	花を楽しむ		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先  
総会参加数  
山行: 1  
リーダー  
原紙:  
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)



1/2.5 万地形図: 笠ヶ岳、三俣蓮華岳



7/27 曇り時々晴れ  
7:00 刈谷発  
11:33 新穂高 P  
12:00 登山開始  
13:00 お助け風  
13:41 笠ヶ岳登山口  
14:00 わさび平小屋

7/28 雨のち曇り  
5:30 わさび平小屋出発  
6:30 1600m  
7:15 秩父沢出合  
7:38 1800m  
8:20 イタドリヶ原  
9:17 シシウドヶ原  
9:56 熊の踊り場  
10:50 鏡平山荘  
12:45 弓折分岐  
14:15 鏡平山荘

7/29 曇り  
6:00 鏡平山荘  
6:43 シシウドヶ原  
7:24 イタドリヶ原  
8:10 秩父沢出合  
9:15 小池新道分岐  
9:51 わさび平小屋  
11:30 新穂高 P



わさび平小屋



弓折分岐

〈山行報告〉新穂高温泉の「登山者用駐車場」に車を置いて出発する。林道沿いにある川の水量が多くて大きな音を立てて流れている。緩やかな登りを歩いて行くと「お助け風」と書かれた風穴に到着。ここで一本取る。岩の間から涼しい風が出てきて汗ばんだ体が心地良い。汗が引いて行く感じだ。さらに林道を進むと「笠ヶ岳登山口」の水場に到着する。水を一口飲む。「おいしい!」ここから 20 分程で今日の宿「わさび平小屋」に到着する。小屋にお風呂があり、さっそく入る。その後夕食までのんびりと過ごす。平日だけど本日の宿泊客は予約で埋まっているようだ。19時に寝る。翌朝は 4:30 に朝食、5:30 に出発する。雨の中カッパを着用して歩く。天気予報は 9 時から曇りになる予測なのでそれを期待する。小池新道分岐までは林道歩きで、この先は登山道となる。所々残雪があり冷気を感じて涼しい。イタドリヶ原、シシウドヶ原を過ぎて熊の踊り場まで進むと雨も止んできた。ここから 1 ピッチで鏡平山荘に到着した。天候は曇り、景色は見えない。山荘にザックを置いてサブザックで弓折分岐までピストンする。稜線に出るとお花がたくさん咲いている。ベンチに座り 30 分程くつろぐ。笠ヶ岳、双六と小池新道からの登山者がこの分岐で一休みするのでいつの間にか休憩場が混んできた。涼しい場所でのんびりと花を楽しんでから鏡平山荘に戻る。小屋で夕食を食べてから 19 時 30 分に寝る。翌朝は 4:30 に朝食、6:00 に出発する。

朝食後、小屋の外に出ると今まで山を覆っていた雲が切れて槍の穂先が見え始める。穂高連峰も現れ、シャッターチャンスと思い鏡平山荘の池に映った槍穂を写真に収める。そして、予定通り下山開始、シシウドヶ原に下りた頃は曇り空が広がり山は隠れてしまった。下山途中に「わさび平小屋」に寄る。一昨日、この小屋でお世話になったのでお礼の挨拶をして、新穂高温泉の「登山者用駐車場」に下山した。



鏡平山荘付近で撮影

〈リーダー所見〉皆さんのおかげで無事、山行を終えました。「身の丈に合った山行」ということで 1 日目は 2 時間の歩行で小屋に泊まる。2 日目はコースタイムの 1.5 倍で小屋に到着。その後、余力で弓折分岐までピストンしました。3 日目も時間に余裕を持って行動しました。体力に合わせて行動すれば「高い山」も「まだまだ行けるかな?」と思います。曇り空の中で鏡平から「槍穂」が見えたのは良かった。



確認  
(リーダー)  
青  
17/08/04  
山  
作成  
(報告者)  
竹  
17/08/04  
内